平成31年度

佐賀大学
入学者選抜要項
（抜粋版）

Ⅴ 募集人員

Ⅵ 出願資格

Ⅶ 選抜方法

V　募集人員

学部，学科・課程等名 ＼ 募集人員等			入学定員	募集人員 一般入試 前期日程	募集人員 一般入試 後期日程	募集人員 特別入試 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）	募集人員 特別入試 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）	募集人員 特別入試 AO入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）	募集人員 特別入試 AO入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）	募集人員 特別入試 佐賀県推薦入学	募集人員 特別入試 帰国子女	募集人員 特別入試 社会人	備考
教育学部	学校教育課程 幼小連携教育コース	幼小発達教育専攻	25	15	5	－	－	－	－	－	－	－	○初等教育主免専攻の推薦入試における募集人員５人は，佐賀県枠で募集します。 ○幼小連携教育コース（推薦入試は除きます。）は，入学後それぞれの専攻に分かれます。
		特別支援教育専攻				5							
	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	70	43	12	5		10	－				
		中等教育主免専攻	25	12	5	－		8	－				
	小計		120	70	22	10		18	－				
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース	美術・工芸分野	55	30	10	－	－	5	－	－	－	－	○芸術表現コース（一般入試）及び地域デザインコースは，入学して１年後にそれぞれの分野に分かれます。 ○芸術表現コース（特別入試）は，入学して１年後に出願時に選択した分野に分かれます。
		有田セラミック分野				5		5	－				
	地域デザインコース	地域コンテンツデザイン分野	55	25	15	－		15	－				
		キュレーション分野											
		フィールドデザイン分野											
	小計		110	55	25	5		25	－				
経済学部	経済学科		110	70	20	20	－	－	－	－	－	－	○一般入試は，３学科の中から順位を付けて第３志望まで志望できます。
	経営学科		80	30	20	30							
	経済法学科		70	35	25	10							
	小計		260	135	65	60							
医学部	医学科		106	50	10	－	＊44	－	－	2	若干人	－	○医学科の推薦入試における募集人員44人は，一般枠20人，佐賀県枠23人，長崎県枠１人とします。 ○看護学科の推薦入試における募集人員20人には，専門系の科及び総合学科からの募集を含みます。
	看護学科		60	35	5	20	－			－	－	若干人	
	小計		166	85	15	20	44			2	－	－	
理工学部	理工学科	数理サイエンスコース	480	269	90	－	－	5	2	－	若干人	－	○入学して１年後にそれぞれのコースに分かれます。ただし，特別入試で生命化学コース又は応用化学コースを希望した者は，入学時点で各コースに配属されます。
		知能情報システム工学コース				2		8	7				
		情報ネットワーク工学コース											
		生命化学コース				2		5	15				
		応用化学コース											
		物理学コース				－		7	3				
		機械エネルギー工学コース				4		10	10				
		メカニカルデザインコース											
		電気エネルギー工学コース				4		5	12				
		電子デバイス工学コース											
		都市基盤工学コース				4		4	12				
		建築環境デザインコース											
	小計		480	269	90	16		44	61				
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	145	74	32	3	－	－	10	－	若干人	－	○生物資源科学科（推薦入試，AO入試は除きます。）は入学して１年後にそれぞれのコースに分かれます。
		食資源環境科学コース				2			8				
		生命機能科学コース				1			10				
		国際・地域マネジメントコース				－		5	－				
	小計		145	74	32	6		5	28				
合計			1,281	688	249	117	44	92	89	2			

（備考）推薦入試Ⅰ，佐賀県推薦入学特別入試及び教育学部のAO入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は，一般入試の前期日程の合格者で補充します。また，推薦入試Ⅱについては，一般入試の後期日程の合格者で補充します。AO入試の芸術地域デザイン学部，理工学部，農学部については，一般入試の合格者で補充します。
後期日程の募集人員には，帰国子女特別入試及び社会人特別入試の募集人員（若干人）を含みます。

＊　医学科の推薦入試Ⅱ佐賀県枠には「佐賀県医師修学資金」が貸与される５人が含まれ，長崎県枠には「長崎県医学修学資金」が貸与されます。なお，詳細は推薦入試募集要項に掲載します。

Ⅵ　出願資格

本学へ出願できる者は，次のいずれかに該当する者とします。

1　一般入試

①　高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」といいます。）を卒業した者及び平成31年３月卒業見込みの者

②　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年３月修了見込みの者

③　学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）同条第７号により出願を希望する者は，事前に入学資格認定の審査を行います。

※申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により，入学資格の認定を受けようとする者は，平成30年８月24日㈮までに申請するものとします。

ただし，他大学において入学資格の認定を受け，平成31年度大学入試センター試験に出願し，受理された者については，平成31年１月16日㈬までに申請するものとします。

申請書類を郵送する場合は，必ず書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書し，本学入試課に送付してください。

〈参考〉学校教育法施行規則第150条第７号

大学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの

※上記出願資格以外に，平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目（25，26ページ参照）のうち一つでも受験しなかった者は，失格となりますので注意してください。

2　特別入試及び私費外国人留学生入試

33ページから51ページを参照してください。

Ⅶ　選抜方法

入学者の選抜は，一般入試及び特別入試並びに私費外国人留学生入試により行います。

本学では，大学入試センター試験の過年度成績は利用しません。

一般入試

⑴　大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績，調査書の内容を総合的に判断し，合格者を決定します。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目等は，25，26ページを参照してください。

医学部医学科においては，入学志願者が，募集人員を上回り，試験を適切に行うことが困難であると予想される場合（前期日程は募集人員の約５倍，後期日程は約10倍）に，２段階選抜を実施します。

⑵　本学が課す大学入試センター試験の受験を要する教科・科目と個別学力検査等の教科・科目等のうち一つでも受験しなかった者は，失格とします。

⑶　採点・評価基準，合否判定基準は，募集要項に掲載します。

⑷　入学手続締切後，入学手続完了者が入学定員に満たない場合は，原則として追加合格者を決定し補充することとしますが，欠員補充第２次募集を行うこともあります。

特別入試及び私費外国人留学生入試

33ページから51ページを参照してください。

1　平成31年度一般入試実施教科・科目

日程	学部, 学科等			募集人員	大学入試センター試験 外国語 英語 筆記	英語 リスニング	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	科目数	国語 国語	数学 数学Ⅰ	数学ⅠA	数学Ⅱ	数学ⅡB	簿・情	科目数	地理歴史・公民 世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・政経	科目数	理科 基礎 物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	専門 物理	化学	生物	地学	科目数	教科科目数 満点	2段階選抜	備考
前期	学校教育課程 教育学部	幼小連携教育コース		15	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	1～2	○	○	○	○	○	○	○	○	1～2	5又は6·7		地歴・公民・理から3
					200							200	200						100~200											A,B,C,D 100~200									900		
		小中連携教育コース 初等教育主免専攻	地歴・公民2科目型	43	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	1	5又は6·7		地歴・公民2科目型及び理科2科目型は出願時に選択
					200							200	200						200											A,B,C,D 100									900		
			理科2科目型		○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	2	5·7		
					200							200	200						100											C,D 200									900		
		小中連携教育コース 中等教育主免専攻	地歴・公民2科目型	12	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	1	5又は6·7		
					200							200	200						200											A,B,C,D 100									900		
			理科2科目型		○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	2	5·7		
					200							200	200						100											C,D 200									900		
	芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	3科目型	30	○	○	○	○	○	○	1	◎	◇	◇	◇	◇	◇ ◇	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	3·3		地歴・公民・数・理から1
					200							200	(100)						(100)											A,B,C,D (100)									500		
			4科目型		○	○	○	○	○	○	1	◎	◇	◇	◇	◇	◇ ◇	0～2	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	0～1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	0～2	3又は4·4		地歴・公民・数・理から2ただし数・理から1は必須
					200							200	(0~200)						(0~100)											A,B,C,D (0~200)									600		
		地域デザインコース		25	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1	5·5		
					200							200	100						100											A,B,C,D 100									700		
	経済学部	経済学科 経営学科 経済法学科		70 30 35	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1										4·5		
					200							200	200						100																				700		
	医学部	医学科		50	◎	◎					1	◎		◎		○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	1					◎	◎			2	5·7	約5倍	
					140							140	140						70											D 140									630		
		看護学科		35	◎	◎					1	◎		○	○	○	○ ○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1					○	○	○		2	5·6		
					140							140	100						70											D 200									650		
	理工学部	理工学科		269	○	○	○	○	○	○	1	◎		◎		○	○ ○	2		○		○		○				○	1					○	○	○	○	2	5·7		
					200							200	200						100											D 200									900		
	農学部	生物資源科学科		74	○	○	○	○	○	○	1	◎		◎		○	○ ○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	2	5·7		
					100							150	100						50											C,D 200									600		
後期	教育学部	学校教育課程 幼小連携教育コース		5	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	1		○		○		○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1	5·5		
					200							200	200						200											A,B,C,D 200									1000		
		学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻		12	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	1		○		○		○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1	5·5		
					200							200	200						200											A,B,C,D 200									1000		
		学校教育課程 小中連携教育コース 中等教育主免専攻		5	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	1		○		○		○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	1	5·5		
					200							200	200						200											A,B,C,D 200									1000		
	芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース		10	○	○	○	○	○	○	1	◎	◇	◇	◇	◇	◇ ◇	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	3·3		地歴・公民・数・理から1
					200							200	(100)						(100)											A,B,C,D (100)									500		
		芸術地域デザイン学科 地域デザインコース		15	○	○	○	○	○	○	1	◎	◇	◇	◇	◇	◇ ◇	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	4·4		数・理から1
					200							200	(100)						100											A,B,C,D (100)									600		
	経済学部	経済学科 経営学科 経済法学科		20 20 25	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	○ ○	2	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	4·5		地歴・公民・理から1
					200							200	200						(100)											A,B,C,D (100)									700		
	医学部	医学科		10	◎	◎					1	◎		◎		○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	1					○	○	○		2	5·7	約10倍	
					140							140	140						70											D 140									630		
		看護学科		5	◎	◎					1	◎		○	○	○	○ ○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1					○	○	○		2	5·6		
					140							140	100						70											D 140									590		
	理工学部	理工学科		90	○	○	○	○	○	○	1	◎		◎		○	○ ○	2		○		○		○				○	1					○	○	○	○	2	5·7		
					150							100	150						50											D 150									600		
	農学部	生物資源科学科		32	○	○	○	○	○	○	1	◎		◎		○	○ ○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	2	5·7		
					100							100	100						50											C,D 200									550		

【表の見方】

① ◎は必須教科の必須科目、○は必須教科の選択科目、◇は選択教科、△は複数教科受験可能で、高得点採用の科目, □は任意の申請。

② 配点に(　)を付している場合は選択教科。配点比率は大学入試センター試験と個別試験の配点比率を表示。

③ 大学入試センター試験では「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は必ず2科目セットでの選択が必要。この場合の科目数は2つ合わせて「1科目」として扱う。

④ 大学入試センター試験の理科における受験パターンをA～Dで表示。Aは基礎2科目、Bは基礎2科目又は専門1科目、Cは基礎2科目及び専門1科目、Dは専門2科目。

⑤ 大学入試センター試験外国語の英語はリスニングの受験が必須です。

⑥ 面接は、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

※理工学部及び農学部は, 平成31年4月に改組予定です。これらの計画は文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果により確定するものであり, 変更になることがあります。
確定した内容は, 推薦入試学生募集要項, 帰国子女特別入試学生募集要項, AO入試学生募集要項, 私費外国人留学生入試学生募集要項及び一般入試学生募集要項で必ず確認してください。

日程	学科・課程等		個別試験																							満点	教科数	特色加点	配点比率	備考
			外国語					国語		数学					理科				総合問題	小論文	実技	面接	調査書	その他						
			コミュニ英Ⅰ	コミュニ英Ⅱ	コミュニ英Ⅲ	英語表現Ⅰ	英語表現Ⅱ	国語総合	国語表現	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物	地学基礎・地学											
前期	幼小連携教育コース		◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△											400	2		9:4	
			200					(200)		(200)																				
	小中連携教育コース 初等教育主免専攻	地歴・公民2科目型	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△											400	2		9:4	
			200					(200)		(200)																				
		理科2科目型	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△											400	2		9:4	
			200					(200)		(200)																				
	小中連携教育コース 中等教育主免専攻	地歴・公民2科目型	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△											400	2		9:4	
			200					(200)		(200)																				
		理科2科目型	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△											400	2		9:4	
			200					(200)		(200)																				
	芸術表現コース	3科目型																			◎				500			5:5	実技試験は描写表現 (29ページ)
																					500								
		4科目型																			◎				400			6:4	実技試験は発想表現 (29ページ)
																					400								
	地域デザインコース																		◎						400			7:4	総合問題の 内容は29ページ
																			400										
	経済学科 経営学科 経済法学科		◎	◎	◎	◎	◎																		100	1		7:1	
			100																										
	医学科		◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						◎	◎		400	3		63:40	
			80							80					80							60	100						
	看護学科																			◎		◎	◎		260			65:26	
																				100		60	100						
	理工学科									◎	◎	◎	◎	◎	○	○									600	2	□ 30	3:2	特色加点はインターネット出願登録時にweb上で登録 特色加点の申請は任意
										360					240														
	生物資源科学科		◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎		◎	◎											400	2	□ 50	3:2	特色加点はインターネット出願登録時にweb上で登録 特色加点の申請は任意
			200							200																			
後期	学校教育課程 幼小連携教育コース		◎	◎	◎	◎	◎													◎					400	1		10:4	
			200																	200									
	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻		◎	◎	◎	◎	◎													◎					400	1		10:4	
			200																	200									
	学校教育課程 小中連携教育コース 中等教育主免専攻		◎	◎	◎	◎	◎													◎					400	1		10:4	
			200																	200									
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース																				◎				300			5:3	実技は描写・発想表現から1 (29ページ)
																					300								
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース		◎	◎	◎	◎	◎																	◎	300	1		6:3	その他は問題解決・ 提案カテスト(29ページ)
			100																					200					
	経済学科 経営学科 経済法学科																			◎					100			7:1	
																				100									
	医学科																					◎	◎		280			63:28	出願後に 自己推薦書を提出
																						180	100						
	看護学科																					◎	◎		280			59:28	出願後に 自己推薦書を提出
																						180	100						
	理工学科									△	△	△	△	△	△	△									400	1	□ 30	3:2	特色加点はインターネット出願登録時にweb上で登録 特色加点の申請は任意
										(400)					(400)														
	生物資源科学科									◎	◎		◎	◎											200	1	□ 50	11:4	特色加点はインターネット出願登録時にweb上で登録 特色加点の申請は任意
										200																			

2　英語外部検定試験の一般入試での利用について

積極的に英語の技能を活用し，主体的に考えを表現することができる学生を求めるとともに，英語のコミュニケーション能力を適切に評価するため，英語外部検定試験の結果を一般入試（前期日程及び後期日程）に利用できます。

⑴　利用できる検定試験（４技能受験必須）

・実用英語技能検定（CSE2.0）
・TEAP（４技能）
・GTEC（４技能）
・GTEC CBT
・TOEFL iBT

⑵　利用方法

・検定試験の成績を換算表に基づき，大学入試センター試験（英語）の得点に換算し，大学入試センター試験の成績とみなして合否判定に利用します。
・検定試験の換算点が，大学入試センター試験の得点より高い場合に，検定試験の換算点を採用します。

⑶　換算表

実用英語技能検定（CSE2.0）	TEAP（４技能）	GTEC（４技能）	GTEC CBT	TOEFL iBT		センター試験得点率
2,200以上	270以上	1,140以上	1,100以上	61以上	⇒	90%
2,100-2,199	235-269	1,080-1,139	1,030-1,099	52-60	⇒	80%
2,000-2,099	220-234	1,010-1,079	950-1,029	45-51	⇒	70%

⑷　申請方法

・インターネット出願登録時に検定試験の種別及び個人番号（ID）等を登録してください。実用英語技能検定申請時の入力例：「2018（受験年度）」,「１（受験回）」,「2000001（個人番号）」入力がない場合や間違った情報を登録した場合，登録した検定試験は利用できない場合があります。
・受験した検定試験の成績証明書等（写し可とするが，TOEFL iBT は原本のみ）を出願書類送付用封筒に同封してください。
・申請できる検定試験の成績は１件です。また，有効期限は，平成29年４月１日以降に受験した検定試験に限ります。
・成績証明書等が出願期間内に届かなかった場合は，登録した検定試験は利用できません。

⑸　大学入試センター試験の受験について

・英語外部試験の利用を申請した場合においても，大学入試センター試験の英語（リスニングを含む）を受験しなかった場合は失格となります。

3　特色加点制度について（一般入試）

「特色加点」とは，志願者の積極的なアピールと高等学校入学以降の主体的な活動を喚起することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。センター試験，個別試験などの合計点(以下，「当初配点」という。）とは別に，書類審査として加点枠を設けます。

特色加点は，志願者が取り組んできた様々な活動や実績を踏まえた申請内容を評価の対象とします。申請された活動・実績の概要や取り組み状況，志望分野との関連性，入学後に期待できる主体的な学習行動や活動，根拠資料の内容等について，アドミッション・ポリシーの観点から評価します。志願者の申請を原則とし，申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。各学部の評価の考え方は，以下の通りです。

【理工学部・農学部】（前期・後期）

申請する活動・実績は，高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。志望学部の学びを理解し，入学後に何を生かせるかなどをしっかり考えた上で積極的にアピールしてください。申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」，「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して，本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」について総合的に評価します。活動・実績の具体例として，研究活動（探究型学習，課題研究，各種教育プログラムなど），課外活動（部活動や生徒会活動など），社会活動（ボランティア，地域活動など），資格・検定取得，コンテスト等の実績，海外留学経験，その他主体的な活動などが考えられます。

4　理工学部と農学部の特色加点（一般入試）及び活動実績報告書（AO 入試Ⅱ）の申請・提出方法

⑴　一般入試での特色加点（任意）の申請

⑵　AO 入試Ⅱでの活動実績報告書（必須）の提出

上記申請等は，紙媒体での郵送ではなく，インターネット出願登録時に Web 上で登録を行います。

詳細については各募集要項へ掲載しますので，該当する方は必ずご確認ください。

5　理工学部と農学部の一般入試（前期・後期）における合否判定について

一般入試（前期・後期）は，センター試験及び個別学力検査（個別試験）の成績，並びに「特色加点」により合格者を決定します。合否判定は以下の手順で実施します。

⑴　センター試験得点と個別試験得点を合計した成績上位者において，「特色加点」の配点により合格の可能性が生じる受験者までを「１次選考適格者」とします。
⑵「２次選考」は，１次選考適格者に対し，センター試験得点と個別試験得点の合計点に，「特色加点」内容の採点結果を加えた総合計点にて合否判定を行います。その際，「特色加点」分を加えなくても合格基準点を上回る受験者に対しては「２次選考」を免除し，合格者とします。
⑶「特色加点」を申請しなかった場合は，「特色加点」分は０点として扱います。

※合否結果の通知は最終結果のみとし，１次選考・２次選考別には行いません。
※「特色加点」として申請できる取組みの年限は，高等学校入学後のものとします。過年度卒業者は卒業後の取組みでも構いません。

6　平成31年度個別学力検査等の出題範囲及び試験方法について

⑴　数学

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａは全範囲から出題します。数学Ｂは「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

⑵　総合問題

文章（英文を含む）や資料（図表，写真，絵，地図など）を題材に，読解力，論理的思考力，分析力，考察力を問います。

⑶　問題解決・提案力テスト

地域や社会に関する課題や事象に対する解決策や提案を，文章や図表，絵などにより，解答用紙に簡潔にまとめたものについて，企画力，発想力，表現力等を含む問題解決能力及び提案力を総合的に評価します。

筆記用具については募集要項に掲載します。

7　芸術地域デザイン学部芸術表現コース実技検査の選択方法について

⑴　前期日程

出願時に「３科目型」を選択した受験者には実技検査（描写表現），「４科目型」を選択した受験者には実技検査（発想表現）を課します。実技検査（描写表現）では，１）～３）のいずれかを出願時に選択します。出願後の変更はできません。

実技検査（描写表現）

1）木炭による石膏デッサン　　2）鉛筆による石膏デッサン　　3）水彩による静物着彩

実技検査（発想表現）

発想・企画プレゼンテーション

持参道具については，募集要項に掲載します。

⑵　後期日程

出願時に1）～4）のいずれかを選択します。出願後の変更はできません。

実技検査（描写表現）

1）木炭による石膏デッサン　　2）鉛筆による石膏デッサン　　3）水彩による静物着彩

実技検査（発想表現）

4）発想・企画プレゼンテーション

持参道具については，募集要項に掲載します。

8　平成31年度大学入試センター試験の科目選択及び得点の取扱い等について

⑴　地歴・公民

1）学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合の取扱いについては，「第1解答科目」の得点を採用します。

学部・学科等が指定した科目は，必ず「第1解答科目」で受験してください。

2）学部・学科等が指定する科目を「第1解答科目」で受験せず，「第2解答科目」で受験した場合は，0点として取扱います。

なお，受験が認められていない同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択した際に，「第1解答科目」を学部・学科等が指定していない科目を受験し，「第2解答科目」で受験した場合は，無資格として取扱い，検定料の一部を返還します。

＊参考（取扱い例）

地歴・公民の指定科目	第1解答科目の受験科目	第2解答科目の受験科目	得点の取扱い
世B，日B，地理B，倫・政経から1	世B	地理A	第1解答科目の「世B」を採用
	地理A	世B	地歴・公民の得点は0点
	世A	世B	無資格とします。

⑵　理科

1）「基礎を付した科目」とは，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。

2）「基礎を付していない科目」とは，「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」を表します。

3）学部・学科等が「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から2科目と指定する場合に「物理」と「物理基礎」など，同一名称を付した科目を選択することはできません。

4）学部・学科等が受験科目を１科目と指定している場合に「基礎を付していない科目」から２科目受験した場合は，「第１解答科目」の得点を採用します。また，「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合は，高得点を採用します。

⑶　数学

1）学部・学科等が受験科目を１科目と指定している場合に２科目受験した場合は，高得点の科目を採用します。

2）医学部，理工学部，農学部については，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

⑷　複数教科・科目間の選択にかかる得点の取扱いについて（指定科目数を超えて受験している場合）

複数教科間の科目採用については，高得点順とします。ただし，地歴・公民及び理科（「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合を除く。）においては，「第１解答科目」を優先します。

⑸　外国語

外国語において英語を受験した者については，リスニングを受験してください。リスニング未受験の者については，失格とします。

（大学入試センターにおいて審査の上，リスニングの免除を許可された者を除きます。）

筆記試験200点満点，リスニング50点満点を以下のとおり換算し，利用します。

<table>
<tr><th colspan="2">学　部　等</th><th>日程</th><th>筆記試験</th><th>リスニング</th><th>合　　計</th></tr>
<tr><td colspan="2">教育学部</td><td>前　　期
後　　期</td><td>160点</td><td>40点</td><td>200点</td></tr>
<tr><td colspan="2">芸術地域デザイン学部</td><td>前　　期
後　　期</td><td>160点</td><td>40点</td><td>200点</td></tr>
<tr><td colspan="2">経済学部</td><td>前　　期
後　　期</td><td>160点</td><td>40点</td><td>200点</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">医学部</td><td>前　　期
後　　期</td><td>112点</td><td>28点</td><td>140点</td></tr>
<tr><td>推　薦　Ⅱ</td><td rowspan="2">128点</td><td rowspan="2">32点</td><td rowspan="2">160点</td></tr>
<tr><td>佐賀県推薦</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">理工学部</td><td>前　　期</td><td>160点</td><td>40点</td><td>200点</td></tr>
<tr><td>後　　期</td><td>120点</td><td>30点</td><td>150点</td></tr>
<tr><td>Ａ　Ｏ　Ⅱ</td><td>200点</td><td>50点</td><td>250点</td></tr>
<tr><td rowspan="3">農学部</td><td rowspan="2">生物科学コース
生命機能科学コース</td><td>前　　期
後　　期</td><td>80点</td><td>20点</td><td>100点</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Ａ　Ｏ　Ⅱ</td><td>160点</td><td>40点</td><td>200点</td></tr>
<tr><td>食資源環境科学コース</td><td>80点</td><td>20点</td><td>100点</td></tr>
</table>

※リスニングを免除された者については，各学部とも，筆記試験（200点満点）の得点を合計欄の点数に換算し，利用します。

9　JAPAN e-Portfolio の利用について

本学では文部科学省入学者選抜改革推進委託事業（主体性分野）に参画し，多面的・総合的評価の実現を目指しています。提出いただいたデータは今後の入学者選抜改革の参考としてのみ利用するため，入学者選抜の合否には一切影響いたしません。

10　平成31年度特別入試（推薦入試Ⅰ）出願資格・選抜方法〔教育，芸術，経済〕

出願資格・出願要件（全学部）

(1)　高等学校若しくは中等教育学校を平成31年３月卒業見込みの者
(2)　特別支援学校の高等部を平成31年３月卒業見込みの者
(3)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年３月修了見込みの者
(4)　高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は確実に入学できる者
※　高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す

学部	学科・コース等	方式	募集人員	セ試	出願要件	提出書類	段階	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
教育学部	学校教育課程 幼小連携教育コース 特別支援教育専攻	推薦Ⅰ	5	×	(1)　将来，特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員になることを強く志望する者 (2)　高等学校の調査書における評定平均値が3.8以上の者	調査書，推薦書		基礎学力試験（外国語），小論文，面接	11/1～11/8	11/30	12/10
教育学部	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻	推薦Ⅰ［佐賀県枠］	5	×	(1)　佐賀県内の高等学校を平成31年３月に卒業見込みの者 (2)　将来，佐賀県下の小学校教員として活躍を期待するに十分な意欲，資質，適性等を有する者 (3)　高等学校の調査書における評定平均値が4.3以上の者	調査書，推薦書，志望理由書	1次	佐賀県教育委員会による書類審査	11/1～11/8	―	11/19頃
教育学部	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻	推薦Ⅰ［佐賀県枠］	5	×	(1)　佐賀県内の高等学校を平成31年３月に卒業見込みの者 (2)　将来，佐賀県下の小学校教員として活躍を期待するに十分な意欲，資質，適性等を有する者 (3)　高等学校の調査書における評定平均値が4.3以上の者	調査書，推薦書，志望理由書	2次	基礎学力試験（外国語，数学），小論文，面接	11/1～11/8	11/30	12/10
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野	推薦Ⅰ	5	×	学業成績，人物ともに特に優れ，芸術表現や当該分野に関して興味関心がある者，又は優れた経験・知識・技術・実績及び熱意がある者	調査書，推薦書，ポートフォリオ		面接（口頭試問を含む），実技検査	11/1～11/8	11/30	12/10
経済学部	経済学科	推薦Ⅰ［商業系］	10	×	(1)　全体の評定平均値が4.3以上の者で，人物，学力について優れる者 (2)　平成30年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書，推薦書，志望理由書，特色加点申請書（任意）		小論文，面接（口頭試問を含む）	11/1～11/8	11/30	12/10
経済学部	経営学科	推薦Ⅰ［商業系］	20	×	(1)　全体の評定平均値が4.3以上の者で，人物，学力について優れる者 (2)　平成30年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書，推薦書，志望理由書，特色加点申請書（任意）		小論文，面接（口頭試問を含む）	11/1～11/8	11/30	12/10
経済学部	経済学科	推薦Ⅰ［普通系］	10	×	(1)　社会科学にとりわけ関心があり，かつ，人物について優れ全体の評定平均値が4.0以上の者 ただし，次のうちいずれかの要件を満たす者 ①成績優秀な者（外国語については評定平均値4.3以上） ②社会事象についての分析や，社会的活動等において優れた実績があり，それを裏付ける資料のある者 ③個性的で積極性に富み，高等学校長が，大学生活においてその能力を充分に発揮できると評価し，推薦に価すると思われる者 (2)　平成30年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書，推薦書，志望理由書，特色加点申請書（任意）		小論文，面接（口頭試問を含む）	11/1～11/8	11/30	12/10
経済学部	経営学科	推薦Ⅰ［普通系］	10	×	(1)　社会科学にとりわけ関心があり，かつ，人物について優れ全体の評定平均値が4.0以上の者 ただし，次のうちいずれかの要件を満たす者 ①成績優秀な者（外国語については評定平均値4.3以上） ②社会事象についての分析や，社会的活動等において優れた実績があり，それを裏付ける資料のある者 ③個性的で積極性に富み，高等学校長が，大学生活においてその能力を充分に発揮できると評価し，推薦に価すると思われる者 (2)　平成30年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書，推薦書，志望理由書，特色加点申請書（任意）		小論文，面接（口頭試問を含む）	11/1～11/8	11/30	12/10
経済学部	経済法学科	推薦Ⅰ［普通系］	10	×	(1)　社会科学にとりわけ関心があり，かつ，人物について優れ全体の評定平均値が4.0以上の者 ただし，次のうちいずれかの要件を満たす者 ①成績優秀な者（外国語については評定平均値4.3以上） ②社会事象についての分析や，社会的活動等において優れた実績があり，それを裏付ける資料のある者 ③個性的で積極性に富み，高等学校長が，大学生活においてその能力を充分に発揮できると評価し，推薦に価すると思われる者 (2)　平成30年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書，推薦書，志望理由書，特色加点申請書（任意）		小論文，面接（口頭試問を含む）	11/1～11/8	11/30	12/10

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部）に記載した学校及び施設を示す。
※「セ試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
(1) 調査書・推薦書の評価基準 学業成績，修学状況，部活動，社会活動等を見ます。 (2) 小論文の評価基準 出題されたテーマに対して，テーマの解釈，構成，論理の展開，視点の独自性，表現能力を見ます。 (3) 基礎学力試験の評価基準 高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを，基礎的な問題によって評価します。 (4) 面接の評価基準 勉学意欲，特別支援教育への興味・関心等を見ます。 (5) 合否判定基準 書類（調査書及び推薦書），小論文，基礎学力試験，面接の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・外国語はコミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ
(1) 調査書等の評価基準 学業成績が優秀かどうか，教職を目指す強い意志を持ち，教員になるための基礎的な資質，能力を兼ね備えているかを，調査書，推薦書，志望理由書等により評価します。 (2) 小論文の評価基準 資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより，文章理解力，資料の内容に関する知識，論理的な思考力，文章構成力，表現力を評価します。 (3) 面接の評価基準 志望動機，学習意欲，積極性，コミュニケーション能力について評価し，将来小学校教員になるための適性を備えているかを判断します。 (4) 基礎学力試験の評価基準 高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを，基礎的な問題によって評価します。 (5) 合否判定基準 基礎学力試験の成績，小論文，面接，高等学校長の推薦書，調査書，志願者の志望理由書を総合して，合格者を決定します。 佐賀県教育委員会による第１次選考（書類審査）を行い，その選考結果は，平成30年11月19日㈪頃通知します。 第２次選考については，第１次選考合格者に対して小論文，面接及び基礎学力試験を行い，各成績評価と書類審査の評価を総合して合格者を決定します。	・外国語はコミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ ・数学は数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂで数Ｂは数列・ベクトル
(1) 調査書，推薦書，ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科，科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。また，推薦書とポートフォリオでは，活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをＡ４用紙で５ページ以内のファイルにまとめて提出してください。 (2) 面接の採点・評価基準 芸術表現を通して地域社会を考え，発想力，コミュニケーション能力等を有しているかを採点・評価基準とします。加えて，当該分野に関する口頭試問によって基礎的知識や制作活動の経験を把握し，当該分野に関する意欲の高さを評価します。 (3) 実技検査の採点・評価基準 自らの手による表現力，発想力など芸術表現に関わる基本的な能力を有しているかを採点・評価基準とします。 静物着彩では，基礎的な造形力に加え水彩絵具による表現力なども総合的に評価します。粘土による造形表現では，基礎的な造形力と表現力などを総合的に評価します。 (4) 合否判定基準 書類（調査書，推薦書及びポートフォリオ），面接及び実技検査の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・実技検査 静物着彩・粘土による造形表現から１ 粘土による造形表現は，試験時に手びねり又はロクロ成形を選択 ・入学志願者が募集人員の約４倍を超えた場合は，書類（調査書，推薦書及びポートフォリオ）による第１次選考を行う場合がある
(1) 調査書等の採点・評価基準 学習状況，クラブ活動等を見ます。 (2) 特色加点の採点・評価基準（申請者のみ） アドミッション・ポリシーに応じて，これまでの活動・実績を評価します。 (3) 小論文の採点・評価基準 資料を提示の上，それについての読解力，着眼力，思考力，文章表現力等を基準として評価します。 (4) 面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。 (5) 合否判定基準 書類（調査書，推薦書等），小論文及び面接の成績を総合して判定します。	・商業系（商業高等学校の全科を含む）・情報系の科，総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・「特色加点」とは志願者の主体的な活動をアドミッション・ポリシーに応じて加点する制度 ・普通科又はこれに準ずると本学部が認める科 ・出願要件の②については証明する資料を添付 ・「特色加点」とは志願者の主体的な活動をアドミッション・ポリシーに応じて加点する制度

平成31年度特別入試（推薦入試Ⅰ）出願資格・選抜方法〔医，理工，農〕

出願資格・出願要件（全学部）

(1)　高等学校若しくは中等教育学校を平成31年３月卒業見込みの者
(2)　特別支援学校の高等部を平成31年３月卒業見込みの者
(3)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年３月修了見込みの者
(4)　高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は確実に入学できる者
※　高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す

学部	学科・コース等			方式	募集人員	セ試	出願要件	提出書類	段階	試験			
										試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
医学部	看護学科			推薦Ⅰ	20	×	(1)　高等学校における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者 (2)　将来，病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3)　平成30年４月以降に高等学校卒業を認められた者を含む	調査書，推薦書，自己推薦書		小論文，面接	11/１～11/８	12/１	12/10
理工学部	理工学科	情報分野	知能情報システム工学コース 情報ネットワークコース	推薦Ⅰ［情報系］	2	×	学習成績，人物ともに優れ，科学技術に対する熱意と能力があると評価される者	調査書，推薦書，活動実績報告書		基礎学力・学習力テスト，小論文，面接（口頭試問を含む。）	11/１～11/８	11/30	12/10
		化学分野	生命化学コース 応用化学コース	推薦Ⅰ［工業系］	2								
		機械工学分野	機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		4								
		電気電子工学分野	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		4								
		都市工学分野	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		4								
農学部	生物資源科学科	生物科学コース		推薦Ⅰ［専門系］	3	×	(1)　学習成績，人物について優れ，自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2)　学習成績概評がⒶとして推薦できる者	調査書，推薦書，活動実績報告書		基礎学力・学習力テスト，小論文，面接	11/１～11/８	11/30	12/10
		食資源環境科学コース			2					基礎学力・学習力テスト，小論文，面接（口頭試問を含む。）			
		生命機能科学コース			1					基礎学力・学習力テスト，小論文，面接			

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部）に記載した学校及び施設を示す。
※「セ試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ，論述式の試験を行うことにより，病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し，それを解決しうる能力を評価します。 (2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機，学習意欲，積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について，対話・口述を通して評価し，将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 (3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく，規則的生活習慣を保ち，学習意欲，積極性や協調性に富んでいるかを高等学校３年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱います。 (4) 合否判定基準 小論文，面接，高等学校長の推薦書，調査書等を総合して合格者を決定します。 なお，面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	・調査書の「４．学習成績概評」欄にⒶと標示する場合は，「９．備考」欄にその理由を必ず明記 ・募集人員には，専門系の科及び総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）を含む ・推薦人数は各高校２人以内
(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では，「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では，申請された活動実績の内容について，「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」，「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して，本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 (2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて，考察力，論理的思考力，表現力及び記述力を見ます。 (3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について，評価します。 (4) 合否判定基準 書類（調査書，推薦書，活動実績報告書等），小論文及び面接等の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・情報系の科，総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います
(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では，「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では，申請された活動実績の内容について，「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」，「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して，本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 (2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて，考察力，論理的思考力，表現力及び記述力を見ます。 (3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について，評価します。 (4) 合否判定基準 書類（調査書，推薦書，活動実績報告書等），小論文及び面接等の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・工業系の科，総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います ・機械系の科，総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います ・電気・電子・情報系の科，総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います ・土木・建築系の科，総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います
(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では，「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では，申請された活動実績の内容について，「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」，「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して，本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 (2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて，考察力，論理的思考力，表現力及び記述力を見ます。 (3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望コースに対する意欲等について，評価します。 (4) 合否判定基準 書類（調査書，推薦書，活動実績報告書等），小論文及び面接等の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・調査書の「９．備考」欄に学習成績概評がⒶの理由を明記 ・専門系の科，総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・推薦人数は各高校の各課程から各コースに対し２人以内。ただし，生命機能科学コースは１人 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います

11　平成31年度特別入試（推薦入試Ⅱ）出願資格・選抜方法〔医〕

出願資格・出願要件（全学部）

(1)　高等学校若しくは中等教育学校を平成31年３月卒業見込みの者
(2)　特別支援学校の高等部を平成31年３月卒業見込みの者
(3)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年３月修了見込みの者
(4)　高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は確実に入学できる者　　※　高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す

学部・学科等	方式	募集人員	出願資格および出願要件	提出書類	評価基準	外国語 英語 筆記	外国語 英語 リスニング	外国語 ドイツ語	外国語 フランス語	外国語 中国語	外国語 韓国語	科目数
医学部医学科	一般枠	20	(1)　高等学校における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者 (2)　将来，病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた医師あるいは医学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3)　平成30年４月以降に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書，推薦書，自己推薦書	(1)　小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ，論述式の試験を行うことにより，病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し，それを解決しうる能力を評価します。 (2)　面接の採点・評価基準 医学部志望の動機，学習意欲，積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について，対話・口述を通して評価し，将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 (3)　調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく，規則的生活習慣を保ち，学習意欲，積極性や協調性に富んでいるかを高等学校３年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱います。 (4)　合否判定基準 大学入試センター試験の成績，小論文，面接，高等学校長の推薦書，調査書等を総合して合格者を決定します。 なお，大学入試センター試験の成績が本学の基準を満たしていない場合，あるいは面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	◎	◎					1
						160						
	佐賀県枠	23	(1)　高等学校における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者 (2)　病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち，将来，佐賀県内の医療活動に貢献したいという強い意思を有する者 (3)　高等学校を平成31年３月に卒業見込みの者又は平成29年４月以降に卒業を認められた者で，次のいずれかに該当する者 ①佐賀県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 ②佐賀県外の高等学校を卒業又は卒業見込みの者のうち，佐賀県内の小学校，中学校のいずれかを卒業し，保護者が佐賀県内に平成30年10月１日現在で３年以上在住している者（出願手続時に住民票あるいは戸籍の附票で確認） (4)　大学卒業後は，佐賀県内の基幹型臨床研修病院において，初期臨床研修（２年）を受けることを確約できる者	調査書，推薦書，自己推薦書，志願理由書，確約書		一般枠と同じ						
	長崎県枠	1	(1)　高等学校における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がＡ段階に属する者 (2)　病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち，将来，長崎県内の地域医療に貢献したいという強い意思を有する者 (3)　高等学校を平成31年３月に卒業見込みの者又は平成29年４月以降に卒業を認められた者で，次のいずれかに該当する者 ①長崎県内の小学校又は中学校を卒業した者 ②長崎県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (4)　入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け，大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者			一般枠と同じ						

12　平成31年度特別入試（佐賀県推薦入学）出願資格・選抜方法〔医〕

試験方法：大学入試センター試験，小論文，面接，書類審査　　出 願 期 間：（１次）平成30年11月１日～８日，（２次）平成30年11月21日～26日
試 験 日：（１次）平成30年11月17，18日，（２次）平成30年12月１日　　合格者発表日：（１次）平成30年11月19日，（２次）平成31年２月13日

学部・学科等	募集人員	出願資格および出願要件	段階	提出書類	評価基準	外国語 英語 筆記	外国語 英語 リスニング	外国語 ドイツ語	外国語 フランス語	外国語 中国語	外国語 韓国語	科目数
医学部医学科	2	(1)　佐賀県が責任をもって推薦できる者（佐賀県による第一次選考合格者） (2)　病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち，将来，佐賀県内での医療活動に従事し，県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す者 (3)　高等学校を平成31年３月に卒業見込みの者若しくは平成28年４月以降に卒業を認められた者，又は，高等専門学校第３学年を平成31年３月修了見込みの者若しくは平成28年４月以降に修了した者で，いずれも高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者（高等学校には，中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む） (4)　最終合格者は，必ず佐賀大学医学部に入学し，卒業後は佐賀県内で医療に貢献することを確約できる者	1次	調査書，所信書，確約書	(1)　小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ，論述式の試験を行うことにより，病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し，それを解決しうる能力を評価します。 (2)　面接の採点・評価基準 医学部志望の動機，学習意欲，積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について，対話・口述を通して評価し，将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。また，将来，佐賀県内での医療活動に従事し県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す意思の有無も評価の基準とします。 (3)　佐賀県からの推薦書等 単に学業成績優秀というのみでなく，規則的生活習慣を保ち，学習意欲，積極性や協調性に富んでいるかを，佐賀県からの推薦書及び添付書類を参考に評価します。 (4)　合否判定基準 佐賀県からの推薦書等，小論文，面接，大学入試センター試験の成績を総合的に判断して，合格者を決定します。 なお，面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	◎	◎					1
			2次	佐賀県からの推薦書								
						160						

【表の見方】
①◎は必須教科の必須科目，○は必須教科の選択科目。
②大学入試センター試験では「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」は必ず２科目セットでの選択が必要。この場合の科目数は２つ合わせて「１科目」として扱う。
③大学入試センター試験の理科における受験パターンをＡ～Ｄで表示。Ａは基礎２科目，Ｂは基礎２科目又は専門１科目，Ｃは基礎２科目及び専門１科目，Ｄは専門２科目。
④大学入試センター試験外国語の英語はリスニングの受験が必須です。
⑤大学入試センター試験を利用する場合，必要な教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は失格となる。

試験方法：大学入試センター試験，小論文，面接，書類審査　　出 願 期 間：平成30年11月１日～11月８日
試 験 日：平成30年12月１日　　合格者発表日：平成31年２月13日

大学入試センター試験																												書類審査（調査書，志望理由書等）	小論文	面接	合計点	その他要件等
国語	数学						地理歴史・公民											理科									教科科目数					
																		基礎				専門										
国語	数学Ⅰ	数学ⅠA	数学Ⅱ	数学ⅡB	簿・情	科目数	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・政経	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	満点					
◎		◎		○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	1					◎	◎			2	5・7	◎	◎	◎	1,240	・調査書の「4．学習成績概評」欄にⒶと標示する場合は，「9．備考」欄にその理由を必ず明記 ・入学志願者が募集人員の約５倍を上回り，試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には，書類（調査書，推薦書等）による第１次選考を行う場合がある ・推薦人数は各高校２人以内
160	160						80											D 160									720	280	120	120		
一般枠と同じ																																・調査書の「4．学習成績概評」欄にⒶと標示する場合は，「9．備考」欄にその理由を必ず明記 ・保護者とは，子に対して親権を行う者，親権を行う者のないときは，未成年者後見人をいう。（本学における保護者の定義<学校教育法から引用>） ・入学志願者が募集人員の約５倍を上回り，試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には，書類（調査書，推薦書等（学校長推薦書））による第１次選考を行う場合がある ・合格者は県内医療活動に従事し，地域医療を担う人材を育成するための佐賀県医師修学資金の貸与を受けられる ・佐賀県医師修学資金については佐賀県福祉保健部医務課に問い合わせ
一般枠と同じ																																・調査書の「4．学習成績概評」欄にⒶと標示する場合は，「9．備考」欄にその理由を必ず明記 ・入学志願者が募集人員の約10倍を上回り，試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には，書類（調査書，推薦書等（学校長推薦書））による第１次選考を行う場合がある ・長崎県医学修学資金については長崎県福祉保健部に問い合わせ

大学入試センター試験																												書類審査（調査書，志望理由書等）	小論文	面接	合計点	その他要件等
国語	数学						地理歴史・公民											理科									教科科目数					
																		基礎				専門										
国語	数学Ⅰ	数学ⅠA	数学Ⅱ	数学ⅡB	簿・情	科目数	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・政経	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	満点					
◎		◎		○	○ ○	2		○		○		○	○	○	○	○	1					◎	◎			2	5・7	◎	◎	◎	1,240	・佐賀県在住者だけでなく，日本国内の居住者も対象 ・佐賀県から佐賀大学への推薦人数は６人程度 ・第１次選考については佐賀県健康福祉部医務課に問い合わせ
																																・佐賀県が行う第１次選考を経て，佐賀県の推薦により佐賀大学医学部による第２次選考を受験する資格を得た者
160	160						80											D 160									720	260	120	140		

13　平成31年度特別入試（AO 入試Ⅰ）出願資格・選抜方法〔教育，芸術〕

学部	学科・コース等	方式	募集人員	セ試	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
							試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
教育学部	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻	AO入試Ⅰ	10	×	(1)　次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成29年４月以降に卒業した者及び平成31年３月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成29年４月以降に修了した者及び平成31年３月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，平成29年４月以降にこれに該当する者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2)　英語，理数，音楽，体育，家庭のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く，その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3)　入学後，初等教育を中心に学修を行う意欲を有し，将来，小学校等の教員になることを強く志望する者 (4)　合格した場合は，確実に入学できる者	調査書，志願理由書，活動実績報告書	小論文，面接（口頭試問を含む），志望分野に関する適性検査	8/16～8/27	9/26 音楽分野は9/26・27	10/10
	学校教育課程 小中連携教育コース 中等教育主免専攻		8	×	(1)　次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成29年４月以降に卒業した者及び平成31年３月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成29年４月以降に修了した者及び平成31年３月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，平成29年４月以降にこれに該当する者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2)　英語，理数，音楽，保健体育，家庭，技術のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く，その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3)　入学後，中等教育を中心に学修を行う意欲を有し，将来，中学校等の教員になることを強く志望する者 (4)　合格した場合は，確実に入学できる者					
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 美術・工芸分野		5	×	(1)　次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成31年３月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成31年３月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，平成30年４月以降にこれに該当する者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2)　芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3)　合格した場合は，確実に入学できる者	調査書，志願理由書，ポートフォリオ	志望分野に関する適性検査，面接	8/16～8/27	9/26	10/10
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野		5	×						
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース		15	×	(1)　次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年３月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年３月修了見込の者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2)　地域デザインコースでの勉学を強く希望する者 (3)　合格した場合は，確実に入学できる者	調査書，志願理由書，特色加点申請　書（任意）	小論文，適性検査，面接			

※「セ試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では,「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では，出願資格および出願要件の(2)(3)および本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。 (2) 活動実績報告書の評価基準 志望分野に関するこれまでの活動実績（研究活動等の実績，外部の英語検定試験の成績，留学経験，大会・コンクール等の実績）を評価します。 (3) 小論文の評価基準 学校教育に関する資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより，文章理解力，資料の内容に関する知識，論理的な思考力，文章構成力，表現力を評価します。 (4) 面接の評価基準 志望動機，専門領域に関する知識や理解，修学意欲，積極性，コミュニケーション能力等を評価し，将来小学校等の教員になるための適性を備えているかを判断します。 (5) 適性検査の評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。 (6) 合否判定基準 書類（調査書，志願理由書），小論文，面接及び適性検査（活動実績報告書の評価を含む）の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・適性検査内容 英語分野：筆記試験とタブレット端末を用いた試験により，英語４技能を総合的に測定 理数分野：理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料（持参）をもとに発表及び質疑応答 音楽分野：専攻楽器（または声楽）の個別レッスン２回，ソルフェージュの個別レッスン１回 体育分野：基礎運動能力（背筋力，反復横とび，ジャンプ力，ソフトボール投げ） 家庭分野：与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成，個別発表及び質疑応答 ・入学志願者が多く，適性検査を適切に行うことが困難な場合は，書類（調査書，志願理由書及び活動実績報告書）により，第１次選考を行う場合がある
(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では,「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では，出願資格および出願要件の(2)(3)および本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。 (2) 活動実績報告書の評価基準 志望分野に関するこれまでの活動実績（研究活動等の実績，外部の英語検定試験の成績，留学経験，大会・コンクール等の実績）を評価します。 (3) 小論文の評価基準 学校教育に関する資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより，文章理解力，資料の内容に関する知識，論理的な思考力，文章構成力，表現力を評価します。 (4) 面接の評価基準 志望動機，専門領域に関する知識や理解，修学意欲，積極性，コミュニケーション能力等を評価し，将来中学校等の教員になるための適性を備えているかを判断します。 (5) 適性検査の評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。 (6) 合否判定基準 書類（調査書，志願理由書），小論文，面接及び適性検査（活動実績報告書の評価を含む）の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・適性検査内容 英語分野：筆記試験とタブレット端末を用いた試験により，英語４技能を総合的に測定 理数分野：理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料（持参）をもとに発表及び質疑応答 音楽分野：専攻楽器（または声楽）の個別レッスン２回，ソルフェージュの個別レッスン１回 保健体育分野：基礎運動能力（背筋力，反復横とび，ジャンプ力，ソフトボール投げから２）及び学校体育教材（バスケットボール，サッカー，バレーボールから２）における運動技能 家庭分野：与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成，個別発表及び質疑応答 技術分野：与えられたテーマについてレゴブロックを用いて作品をつくり，プレゼンテーション及び質疑応答 ・入学志願者が多く，適性検査を適切に行うことが困難な場合は，書類（調査書，志願理由書及び活動実績報告書）により，第１次選考を行う場合がある
(1) 調査書，志願理由書，ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科，科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。また，志願理由書とポートフォリオでは，活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをＡ４用紙で５ページ以内のファイルにまとめて提出してください。 (2) 面接の評価基準 熱意，修学意欲，積極性，主体性，発想力等を総合的に評価します。 (3) 適性検査の採点・評価基準 教科・科目から判断される基礎学力とは異なる主体性や分析力，行動力及び考察力を重視した多面的・総合的な採点，評価を行います。 (4) 合否判定基準 書類（調査書，志願理由書及びポートフォリオ），適性検査及び面接の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 ・入学志願者が募集人員の約５倍を超えた場合は，書類（調査書，志願理由書及びポートフォリオ）による第１次選考を行う場合がある ・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 ・入学志願者が募集人員の約５倍を超えた場合は，書類（調査書，志願理由書及びポートフォリオ）による第１次選考を行う場合がある
(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では,「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では，本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。 (2) 特色加点の採点・評価基準（申請者のみ） 本コースのアドミッション・ポリシーに応じて，これまでの活動・実績を評価します。 (3) 面接の評価基準 熱意，修学意欲，積極性，主体性等を総合的に評価します。 (4) 小論文の採点基準 読解力，論理的思考力，分析力，考察力，企画力，発想力，表現力等を総合的に判断します。 (5) 適性検査の採点・評価基準 コミュニケーション能力，論理性，表現力等を総合的に評価します。 (6) 合否判定基準 書類（調査書，志願理由書，特色加点申請書〈申請者のみ〉），小論文，適性検査及び面接の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・適性検査内容 与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成，個別発表及び質疑応答 ・「特色加点」とは志願者のこれまでの主体的な活動をアドミッション・ポリシーに応じて加点する制度 ・入学志願者が募集人員の約５倍を超えた場合は，書類（調査書，志願理由書及び特色加点申請書（申請者のみ））による第１次選考を行う場合がある

平成31年度特別入試（AO 入試Ⅰ）出願資格・選抜方法〔理工，農〕

学部	学科	コース等		方式	募集人員	セ試	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
									試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
理工学部	理工学科	数理分野	数理サイエンスコース	AO入試Ⅰ	5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成29年４月以降に卒業した者及び平成31年３月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成29年４月以降に修了した者及び平成31年３月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，平成29年４月以降にこれに該当する者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野・・・・・・数学Ⅲ 化学分野・・・・・・数学Ⅲ，化学 その他の分野・・・・数学Ⅲ，物理 (4) 合格した場合は，確実に入学できる者	調査書，志望理由書，活動実績報告書	適性検査，面接（口頭試問を含む）	11/１～11/８	11/30	12/10
		情報分野	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース		8							
		化学分野	生命化学コース 応用化学コース		5							
		物理学分野	物理学コース		7							
		機械工学分野	機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		10							
		電気電子工学分野	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		5							
		都市工学分野	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		4							
農学部	生物資源科学科	国際・地域マネジメントコース			5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成29年４月以降に卒業した者及び平成31年３月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成29年４月以降に修了した者及び平成31年３月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，平成29年４月以降にこれに該当する者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 国際・地域マネジメントコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は，確実に入学できる者	調査書，志望理由書，活動実績報告書	適性検査，面接			

※「セ試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では,「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では，「本分野で学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では，申請された活動実績の内容について，「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」,「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して，本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 調査書，志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら，総合的に評価したものを書類審査の得点とします。 (2) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について評価します。 (3) 適性検査の採点・評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。 (4) 合否判定基準 書類（調査書，志望理由書及び活動実績報告書等），面接及び適性検査の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・適性検査の内容 数理分野：数学の知識を活用した問題を出題することにより，知識のみならず論理プロセスも重視した数学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。出題範囲は，数学ⅠA，数学ⅡB，数学Ⅲとします。数学Bは「数列」,「ベクトル」から出題します。 情報分野：問題文や資料等から処理手順を読み取り，そのアルゴリズムを示すことができるかについての論理的思考力を評価します（出題する内容に応じて，ペーパーテストまたは口頭試問により実施）。 化学分野：化学実験などに関する動画や資料（写真や図表など）を題材に，知識のみならず論理プロセスも重視した化学や科学的思考力に対する適性を評価します（タブレット端末で問題を提示し，解答用紙に解答）。 物理学分野：物理や数学の知識を活用した問題を出題することにより，知識のみならず論理プロセスも重視した物理に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。 機械工学分野：機械工学に関連した事項を題材とした問題を出題することにより，高等学校で学ぶ知識のみならず問題解決能力や論理的思考力を重視した機械工学に対する適性を評価します。 電気電子工学分野：電気及び力学に関する物理の問題を出題することにより，知識のみならず論理的思考力も重視した上で，電気電子工学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。 都市工学分野：数学（数ⅡB（確率と統計・ベクトル・数列）・数Ⅲ（微分・積分））と物理（力学・熱力学・エネルギー・波動）に関する融合問題により，知識のみならず論理的思考も重視した数学と物理の素養を評価します（ペーパーテストで実施）。
(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では,「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では，「本コースで学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では，申請された活動実績の内容について，「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」,「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して，本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 調査書，志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら，総合的に評価したものを書類審査の得点とします。 (2) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望コースに対する意欲等について評価します。 (3) 適性検査の採点・評価基準 志望するコースの適性及び基礎能力を評価します。 (4) 合否判定基準 書類（調査書，志望理由書及び活動実績報告書等），面接及び適性検査の各成績評価を総合して，合格者を決定します。	・適性検査内容 提示した課題や資料等（図表や動画を含む）を題材として，高等学校等で学ぶ基本的な統計処理や，食料・農業・環境・健康問題などに関する時事的な話題を含む基礎知識を前提に，分析力，判断力，論理的思考力，コミュニケーション力（発信力），想像力の観点から，学習する力（適性）を総合的に評価します。課題や資料等の提示はタブレット端末を用いて行い，解答は解答紙への筆記や口頭（集団討論形式の場合もあり）で行います。

14　平成31年度特別入試（AO 入試Ⅱ）出願資格・選抜方法〔理工，農〕

試験方法：大学入試センター試験の成績，書類審査　　出 願 期 間：平成31年１月21日～１月30日
試 験 日：佐賀大学における小論文や面接等の試験は行いません。　　合格者発表日：平成31年２月13日

学部・学科等			方式	募集人員	出願資格および出願要件	提出書類	評価基準
理工学部　理工学科	数理分野	数理サイエンスコース	ＡＯ入試Ⅱ	2	(1)　次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成29年４月以降に卒業した者及び平成31年３月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成29年４月以降に修了した者及び平成31年３月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，平成29年４月以降にこれに該当する者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2)　志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3)　以下に指定している科目を履修している者 数理分野……数学Ⅲ 化学分野……数学Ⅲ，化学 その他の分野……数学Ⅲ，物理 (4)　合格した場合は，確実に入学できる者	調査書， 志望理由書， 活動実績報告書（※）	(1)　書類審査の採点・評価基準 調査書では，「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では，「本分野で学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では，申請された活動実績の内容について，「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」，「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して，本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 調査書，志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら，総合的に評価したものを書類審査の得点とします。 (2)　合否判定基準 大学入試センター試験の成績及び書類（調査書，志望理由書及び活動実績報告書等）を総合して，合格者を決定します。
	情報分野	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース		7			
	化学分野	生命化学コース 応用化学コース		15			
	物理学分野	物理学コース		3			
	機械工学分野	機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		10			
	電気電子工学分野	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		12			
	都市工学分野	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		12			
農学部　生物資源科学科	生物科学コース			10	(1)　次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成29年４月以降に卒業した者及び平成31年３月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を平成29年４月以降に修了した者及び平成31年３月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもので，平成29年４月以降にこれに該当する者及び平成31年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2)　各コースでの勉学を強く希望する者 (3)　合格した場合は，確実に入学できる者	調査書， 志望理由書， 活動実績報告書（※）	(1)　書類審査の採点・評価基準 調査書では，「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について，出願要件および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では，「本コースで学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では，申請された活動実績の内容について，「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」，「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して，本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 調査書，志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら，総合的に評価したものを書類審査の得点とします。 (2)　合否判定基準 大学入試センター試験の成績及び書類（調査書，志望理由書及び活動実績報告書等）を総合して，合格者を決定します。
	食資源環境科学コース			8			
	生命機能科学コース			10			

【表の見方】
①◎は必須教科の必須科目，○は必須教科の選択科目。
②大学入試センター試験では「物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎」は必ず２科目セットでの選択が必要。この場合の科目数は２つ合わせて「１科目」として扱う。
③大学入試センター試験の理科における受験パターンをＡ～Ｄで表示。Ａは基礎２科目，Ｂは基礎２科目又は専門１科目，Ｃは基礎２科目及び専門１科目，Ｄは専門２科目。
④大学入試センター試験外国語の英語はリスニングの受験が必須です。
※活動実績報告書の提出方法については「４　理工学部と農学部の特色加点（一般入試）及び活動実績報告書（AO 入試Ⅱ）の申請・提出方法（28ページ）」をご参照ください。

分野等	大学入試センター試験																																							書類審査（調査書，志望理由書等）	合計点
	外国語							国語	数学						地理歴史・公民											理科										教科科目数				
	英語						科目数							科目数										科目数	基礎				専門				科目数	満点			
	筆記	リスニング	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		国語	数学Ⅰ	数学ⅠA	数学Ⅱ	数学ⅡB	簿・情		世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・政経		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学					
数理分野	○	○	○	○	○	○	1	◎		◎		○	○ ○	2		○		○		○				○	1					○	○	○	○	2	5・7	◎	1,100
	250							100	300						100											D 250									1,000	100	
情報分野	数理分野と同じ																																								
化学分野	数理分野と同じ																																								
物理学分野	○	○	○	○	○	○	1	◎		◎		○	○ ○	2		○		○		○				○	1					◎	○	○	○	2	5・7	◎	1,100
	250							100	300						100											D 250									1,000	100	
機械工学分野	物理学分野と同じ																																								
電気電子工学分野	数理分野と同じ																																								
都市工学分野	物理学分野と同じ																																								
生物科学コース	○	○	○	○			1	◎		◎		○	○ ○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	2	5・7	◎	1,100
	200							200	200						100											C，D 200									900	200	
食資源環境科学コース	○	○	○	○	○	○	1	◎		◎		○	○ ○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	2	5・7	◎	600
	100							50	100						50											C，D 200									500	100	
生命機能科学コース	○	○	○	○	○	○	1	◎		◎		○	○ ○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	2	5・7	◎	950
	200							100	200						100											C，D 200									800	150	

15　平成31年度特別入試（帰国子女，社会人）出願資格・選抜方法〔医，理工，農〕

学部	学科	方式	募集人員	セ試	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
							試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
医学部	医学科	帰国子女	若干人	×	日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって，外国の学校教育を受けた者のうち，保護者とともに２年以上継続して外国に在留し，次のいずれかに該当する者とします。 ただし，平成29年３月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く）した者及び保護者が帰国した後，本人が帰国するまでの期間が２年以上経過した者は，出願を認めません。 (1) 学校教育における12年の課程を平成29年４月１日から平成31年３月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で，原則として，外国において最終学年を含め，２年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 ただし，外国に設置された学校等であっても，日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は,「２年以上」という期間には算入しません。 (2) 外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成29年又は平成30年に授与された者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において，大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者 (4) フランス共和国において，大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者 (5) 英国において大学入学資格として認められている GCE−A レベル資格を取得した者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者 (6) 国際的な評価団体（WASC，ACSI，CIS）から認定を受けた外国に所在する教育施設において，12年の課程を修了した者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者	証明書類	学力検査（数学・理科・外国語），面接	11/１ ～11/８	２/25・26	３/９
理工学部	理工学科		若干人		日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって，外国の学校教育を受けた者のうち，次のいずれかに該当する者とします。 (1) 学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を外国又は日本において，平成29年４月１日から平成31年３月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で，卒業（修了）時点から起算して過去４年間の内，外国において２年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 ただし，外国に設置された学校等であっても，日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学して教育を受けた期間は,「２年以上」という期間には算入しません。 (2) 外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成29年又は平成30年に授与された者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において，大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者 (4) フランス共和国において，大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者 (5) 英国において大学入学資格として認められている GCE−A レベル資格を取得した者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者 (6) 国際的な評価団体（WASC，ACSI，CIS）から認定を受けた外国に所在する教育施設において，12年の課程を修了した者で，平成31年３月31日までに18歳に達する者		小論文，面接（口頭試問を含む）		11/30	12/10
農学部	生物資源科学科		若干人							
医学部	看護学科	社会人	若干人	×	平成31年４月１日現在，年齢が満21歳以上であり，社会人として３年以上の経験を有し，看護学を修め，卒業後看護の分野で就業する意思のある者で，次のいずれかに該当する者とします。 (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」と言う）を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 注）社会人の期間には，学校等（予備校，大学，専修学校高等課程・専門課程）の在学期間は含まない	調査書等，成績証明書，志願理由書	小論文，面接	11/１ ～11/８	12/１	12/10

※「セ試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
(1) 学力検査の教科名・科目名等 数学　数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ（注） 理科　物基・物，化基・化 外国語　コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ （注）数学は，数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲ，数Ａは全範囲から出題します。数Ｂは「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。 (2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機，学習意欲，積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について，対話・口述を通して評価し，将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 (3) 合否判定基準 学力検査，面接，提出書類を総合して最終的な合格者を決定します。 なお，面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	
(1) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて，解釈力，論理的思考力，表現力及び記述力等を見ます。 (2) 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識，自己の目標，志望学科に対する意欲を問います。 (3) 合否判定基準 書類（成績証明書等），小論文及び面接等の結果を資料として判定の上，合格者を決定します。	
(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ，論述式の試験を行うことにより，病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し，それを解決しうる能力を評価します。 (2) 面接の採点・評価基準 これまでの社会人としての経験を生かした，看護学科志望の動機，学習意欲，積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について，対話・口述を通じて評価し，将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 なお，志願理由書及び調査書は面接にあたって参考にします。 (3) 合否判定基準 小論文及び面接の結果を総合して，合格者を決定します。 小論文及び面接の配点 小論文200点，面接60点（総得点260点）	

16　特別入試（推薦入試Ⅰ，AO 入試Ⅰ）の配点について

推薦入試Ⅰ

区分 / 学部，学科・課程等名			書類審査（調査書，推薦書等）	小論文	面接	実技検査	その他	大学入試センター試験	総合得点（総合評価）	特色加点
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース 特別支援教育専攻	100	100	100		100 （注１）		400	
		小中連携教育コース 初等教育主免専攻 〔佐賀県枠〕	50	100	150		200 （注１）		500	
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野		300		300	400			1000	
経済学部	経済学科	商業系の科・情報系の科・総合学科推薦	2段階評価（合，否）	100	2段階評価（合，否）				2段階評価（合，否）（注２）	40
	経営学科									
	全学科	普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦								20
医学部	看護学科		150	200	150				500	
理工学部	理工学科	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース	3段階評価	3段階評価	4段階評価		3段階評価 （注３）		5段階評価	
		生命化学コース 応用化学コース								
		機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース								
		電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース								
		都市基盤工学コース 建築環境デザインコース								
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	100	100	100		200 （注３）		500	
		食資源環境科学コース	100	200	200		100 （注３）		600	
		生命機能科学コース	150	200	200		50 （注３）		600	

（注１）基礎学力試験
（注２）特色加点の得点を加味して評価します。
（注３）基礎学力・学習力テスト

AO 入試Ⅰ

区分 学部，学科・課程等名				書類審査 （調査書，志願理由書等）	小論文	面　接	適性検査	大学入試センター試験	総合得点 （総合評価）	特色加点
教育学部	学校教育課程	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	100	100	150	200 （注１）		550	
			中等教育主免専攻							
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	美術・工芸分野	200		200 （注２）	400		800	
			有田セラミック分野							
		地域デザインコース		２段階評価 合，否	300	200	500 （注３）		1000	100
理工学部理工学科	数理サイエンスコース			３段階評価		４段階評価	５段階評価		５段階評価	
	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース									
	生命化学コース 応用化学コース									
	物理学コース									
	機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース									
	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース									
	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース									
農学部 生物資源科学科 国際・地域マネジメントコース				150		150	200		500	

（注１）適性検査の評価に活動実績報告書の評価も含みます。
（注２）面接は適性検査に関する質疑応答を含みます。
（注３）プレゼンテーション資料作成の評価を300点，プレゼンテーション及び質疑応答の評価を200点とします。

17　特色加点制度について（特別入試）

「特色加点」とは，志願者の積極的なアピールと高等学校入学以降の主体的な活動を喚起することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。センター試験，個別試験などの合計点(以下，「当初配点」という。）とは別に，書類審査として加点枠を設けます。

特色加点は，志願者が取り組んできた様々な活動や実績を踏まえた申請内容を評価の対象とします。申請された活動・実績の概要や取り組み状況，志望分野との関連性，入学後に期待できる主体的な学習行動や活動，根拠資料の内容等について，アドミッション・ポリシーの観点から評価します。志願者の申請を原則とし，申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。各学部の評価の考え方は，以下の通りです。

⑴　芸術地域デザイン学部（AO 入試Ⅰ）

申請する活動・実績は，高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。地域デザインコースの学びを理解し，入学後に何を生かせるかなどをしっかり考えた上で積極的にアピールしてください。申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「地域社会が抱える問題に関心があり，芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力，発想力，表現力」，「主体的にものごとに取り組むことができる積極的な行動力」，「高等学校入学以降の主体的な実績・活動」について総合的に評価します。活動・実績の具体例として，地域創生などに関わる主体的な活動，課外活動（部活動や生徒会活動など）における実績や取り組み，研究活動（高大連携活動〈SSH，SGH 等を含む〉，総合的学習等での活動実績），資格・検定試験など外部試験等の実績，海外留学経験，その他主体的な活動などが考えられます。

⑵　経済学部（推薦入試Ⅰ）

１）商業系の科等推薦における評価対象

「簿記」「情報」「英語」「商業経済」の４分野に関する資格・検定について，その難易度に応じて評価します。

２）普通科等推薦における評価対象

校内外を問わず，高等学校在学中に主体的に取り組んだ活動や実績について申請してください。校内活動としては，体育系・文化系の部活動，生徒会活動，課題研究（探究型学習）など，校外活動としては，社会活動（ボランティア，地域活動），海外留学，スポーツ活動，文化・芸術活動，検定・資格取得，課題研究（探究型学習）などが該当します。なお，「課題研究（探究型学習）」に関する活動とは，校内外を問わず，高等学校在学中に取り組んだ課題研究（探究型学習）に関する活動です。高等学校の総合的な学習の時間等での課題研究（探究型学習）といった校内活動，大学（本学または他大学）による高校生対象の課題研究（探究型学習）や，国・地方公共団体・企業・大学等が実施する課題研究型コンテストへの出場（ビジネスプランコンテスト，まちづくりプランコンテスト，社会科学系の論文コンテスト等）といった校外活動が該当します。